

## 大和高田市立病院建替え整備基本構想策定検討委員会でのご意見

NO.	カテゴリ	発言回	ご意見内容	回答内容	構想書へ反映
01-01	01検討工程	1回目	住民説明会の規模	対象は市民全体として幅広く設定予定。 案内は5月の広報誌に掲載し、ホームページにも掲載予定。 内容については第1回および第2回の大和高田市立病院建替え整備基本構想策定検討委員会にて委員から受けた意見も含めて説明する。 特に移転候補地の選定経緯、これからの病院のあり方について説明を行いたいと考えている。 想定人数としては100名程度ではないかと想定しているが、まだ把握できていない。	
01-02	01検討工程	1回目	新病院整備にあたっての他自治体への協力依頼	検討していく。	
02-01	02医療機能	1回目	新病院のソフト面の強化内容	がん治療については従来からの放射線治療・化学療法・外科治療を継続しながら、緩和ケアを実施する体制を構築する。 救急医療については従来から24時間365日対応を謳っていたが、患者を断っていたところもあったが、これからは医師の体制強化を進んでおり、応需率の向上を目指していく。特に心臓領域については医師の確保はできており、脳領域についても奈良医大にも相談して今後確保見込み。	
02-02	02医療機能	1回目	医師の働き方改革と救急の24時間365日対応のバランスのとり方	2次救急輪番の中で近隣病院とも協力しながら、当院だけで賄いきれない部分については補完しあいながら進めていきたい。	
02-03	02医療機能	1回目	脳神経外科領域の紹介に対する対応の改善	(現在は脳神経外科領域ということだけで電話で断られているが、まずは診て病院から他院への紹介を行ってほしい、というご意見) 対応の改善を図るとともに、当院でも対応できるような医師の確保も進めていく。	
02-04	02医療機能	1回目	想定外来患者数の設定の考え方(1日あたり現行800人、新病院想定700人)	地域医療支援病院を目指す中で紹介患者を中心に受け入れていくことを考慮し、減少設定としているが、患者を断っていくというよりも紹介患者を中心に受け入れていくことで、自然とこのくらいの数字になるのではないかと見込んでいる。 また今後は入院受入れを中心とした病院づくりも検討していきたい。(地域の医療機関との役割分担)	○ (p25)
02-05	02医療機能	1回目	訪問看護の継続確認	移転を機に廃止するようなことは現時点では考えていない。開業医の後方支援としての訪問看護の必要性は感じているので、継続に向けて検討していきたい。	○ (p24)
02-06	02医療機能	1回目	街の相談室としての機能	介護相談については市側の機能だとも考えているが、病院がその機能の支援をしていくことも必要と考える。	
02-07	02医療機能	1回目	認知症患者への対応	現在は精神科医の配置がないため対応が難しいところもあるが、医療機能としては検討していきたい。	○ (p20)
02-08	02医療機能	2回目	口腔外科の標榜	検討していく。	
03-01	03建物整備	1回目	新病院への交通アクセスの整備方針	駐車場を確保するだけでなく、大和高田市ともコミュニティバス等の公共交通機関の利用促進の策も練っていききたい。	○ (p28)
03-02	03建物整備	1回目	新興感染症に対するハード整備	建物としてどのような工夫ができるかについて検討していく。	○ (p28)
03-03	03建物整備	1回目	JR高田駅からのアクセス	まちづくりの方で開発事業の一環として検討している内容ではあるが、デッキを活用するなど改札を出てそのまま上下移動せずに病院に行けるような工夫も考えていきたい。	○ (p28)
03-04	03建物整備	1回目	高田東高校の候補地としての検討	高田東高校については市街化調整区域のため200床未満でしか整備できないことと、ハザードマップ上で周辺が浸水地域とされているため、候補から外した。	
03-05	03建物整備	2回目	移転場所の確定時期と確定方法	年内を目標として、県と協議を進めていく。 移転となれば議会に諮っていく必要がある。	
03-06	03建物整備	2回目	最有力候補地の土地確保の見通し	見通しは立っている。本年1月に当時の奈良県知事と本市場長との間で、協定書を締結しているため、これから年内確定に向けて肅々と進めていきたい。協定書内にも機能移転に向けて、県と市が協力しながら進めていく旨が記載されている。	
03-07	03建物整備	2回目	候補地選定の経緯	最有力候補地ありきで検討を進めたということはない。 はじめは候補①～③を合わせて「駅前周辺地区」として合計5つの候補地として検討していた。その時点での比較検討で駅前エリアが有力な候補として考えられた。候補地の選出には土地の確保の容易性を考慮し、公有地からの検討となった。 最有力候補地の確定に向けて県と協議を進めているが、その話がなくなった場合は改めて選出しなおす必要が出てくる。	
03-08	03建物整備	2回目	病院以外のまちづくりの観点	駅前まちづくり計画として、病院以外の施設なども含めて検討を進めている。	
03-09	03建物整備	2回目	最有力候補地の県有地の割合	県有地は産業会館の敷地面積は約6,000㎡、産業会館で使用している約2,370㎡。 市有地は駅前の東側出口側のロータリー一部分で約2,540㎡。 基本構想書(案)34ページの整備事業費には土地関連費用を含んでいる。	
03-10	03建物整備	2回目	市役所跡地利用の選定理由	市役所跡地周辺はシビックコアという行政機関の施設が集約されるエリアとして、街づくりに取り組んでいる。いつかは現在のそれぞれの施設の建替えが必要となってくると思うが、まだ他の施設も建替えには早く、10年先になるだろうという結論となったため、そのころまで民間活用が適正という判断となった。	